

# カトリック河原町教会だより

2012年6月



なつかしい雰囲気の中でのミサ

## 98名で明治村へ 聖ザビエル天主堂 でミサ

2012年6月2日(土)カトリック河原町教会ぶどうの会主催による「明治村旧聖堂訪問と多治見修道院見学巡礼バスツアー」が行われました。花井神父様と教区のシスターや信徒等総勢98名がバス2台に分乗してのツアーで、多治見教会(神言修道院)でロザリオの祈りをささげ、聖ザビエル天主堂(旧聖堂)でミサに与りました。

この聖堂の献堂式が行われたのが今から122年前の1890年(明治23年)5月1日。京都駅から教会までフランス軍楽隊による華々しい行進があり、京都府知事、市長、フランス公使等の参加のもと荘厳ミサが行われました。主任司祭だったヴィリオン神父はすでに山口に転任されておられました。

1967年(昭和42年)聖堂は愛知県犬山市にある明治村博物館に寄贈、移転されました。以来45年たった今も堂々と往時の姿を留めています。第二バチカン公会議以前に建てられた教会ですから、祭壇は一番奥にあり、司祭は会衆に背中を向けて司式



今なお威風堂々、聖ザビエル天主堂

されました。古屋司教様の「司教座」は祭壇左に設置されており、香部屋の棚には当時の祭服やラテン語の典礼書、聖書等が残されていました。厳粛な雰囲気の中、先人たちの深い信仰と福音宣教への思いを偲びながら、祈りをささげました。



入口上部に飾られていた直径3.6mを超えるバラ窓。



多治見修道院で巡礼ツアーのみなさん

## 聖ペトロと聖パウロ

6月29日は、聖ペトロ聖パウロ使徒を祝う祭日です。彼ら二人は、1世紀にキリスト教の土台を造った偉大な聖人です。この二人を教会はずっと一緒に祝ってきました。それは、異なる使命を与えられていた二人ですが、彼らは共に教会の成長と一致のために命をかけて尽くしたからです。ペトロは「使徒たちの頭、教会のいしずえ」として、パウロは「異邦人の使徒」としての使命を受けていたのです。

ペトロは、ガリラヤ湖畔で弟アンドレと共に漁をしながら生活していました。彼が漁をしていたとき、イエスから「わたしについてきなさい。人間をとる漁師にしよう」と言われ、イエスの後に従いました。彼の名はシモンでしたが、イエスから「岩」を意味する「ペトロ」という名前を与えられ、後にイエスから「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。…わたしはあなたに天の国の鍵を授ける」と約束され、教会の頭とされました。西暦60年代半ばの皇帝ネロによるキリスト教迫害の中、殉教しま



した。ペトロが処刑された場所にサン・ピエトロ大聖堂が建てられ、教皇職は「ペトロの座」とも呼ばれています。

パウロは、小アジアのタルソス生まれで、最初サウロと呼ばれていました。彼はローマ帝国の市民権を持ち、有名な律法学者ガマリエルから律法を学んだ生粋のファリサイ派で、最初は徹底的にキリスト者を迫害していました。ある日、キリスト者を捕らえるためにダマスコに行く途中、突然天から「サウル、サウル、なぜわたしを迫害するのか」というイエスの声を聞き、地面に倒れ、目が見えなくなりました。この復活のイエスとの出会いにより、彼は回心したのです。その後、バルナバの協力によりアンティオキアを中心に宣教し、教会をたてていきました。パウロは3回の宣教旅行に出かけ、小アジア、ギリシア、マケドニアなど多くの異邦人にキリストの福音を宣べ伝えました。パウロが各教会に送った手紙は、まだ福音書が書かれていない当時の初代教会に大きな影響を与えました。ペトロと同じ頃パウロもローマで殉教しました。



## 不思議な力と 元気をいただきました!

### 聖書通読完了

2009年6月26日から始まった教育部主催の聖書通読会が、5月25日で完了しました。新共同訳聖書は、旧約929章、続編176章、新約260章あり、全部で1365章から成っています。それを毎週10章ずつ137回、つまり2年11か月かけて読んでいく集いでした。最後の日に、花井神父様にご出席いただいて、参加者の皆さんと聖書通読の感想を分かち合いました。

MR：毎週金曜日の午後、十数名で聖書を輪読するだけの集まりでしたが、皆で励まし合って通読完了できたことに感謝しています。生涯一度は聖書を全巻読んでみたいけど、一人ではなかなか読めないという思いから始

まった通読会でした。神様がすべてを導いてくださっています。みことばの力を今つくづく感じています。これからは生涯キリスト者として日々聖書に触れて信仰を深めていきたいと思っています。

KK：聖書は声を出して読むのと、黙読するので違いがありますが、さらに他の人が読むのを聴くと神様のみことばがわたしの心の中に入って来るのを感じます。ミサで読まれる箇所は部分的なので、聖書全体を読んで、この箇所なのだなという発見がありました。

TY：3年前、京都に来た時、知り合いは一人もいませんでしたが、この通読会で多くの出会いがありました。最後まで聖書を読み切ることができたのはやはり神様のお陰です。

FK：金曜日に聖書を読むことが、いつの間にかわたしの生活の一部になっていました。周りの人から信仰の素晴らしさも学びました。

KH：聖書を読んでいくうちに、神様が大好きになりました。苦しみや不安が溶けて行くのを感じています。イエス様が十字架にかけられたその時間にみことばに触れて、不思議な力と元気をいただきました。あたたかい笑顔につつまれた愛と喜びの幸せな場所でした。

MM：一人では絶対にできないことでした。金曜日が待ち遠しく、あつという間の3年間でした。

YY：読みにくい旧約を読むことができて、神様の導きに感謝しています。

SK：戸棚の中にしてしまっていた聖書をやっと開くことができました。途中参加でしたが、生きている間に読み通したい。



日本聖書協会の認定証とともだ

### 地域と共に52年

## 希望の家

### 地域福祉センター

戦後の混乱がようやく落ち着きを見せ始めた1958年、九条教会に赴任したディフリー神父は、その地域社会の子どもたちのために補習学級を始めました。トタンぶきバラック建て30㎡の建物は子どもたちによって「希望の家」と名付けられました。ディフリー神父の思いは受け継がれ、現在、希望の家は地域福祉センター事業、児童館事業、タイムケア事業を行っています。

京都教区の信徒の皆さんや、ノートルダムボランティアサークル、聖母女学院OG 等多くのボランティアの方々によって支えられています。まだまだ多くの人の力が必要です。

ボランティア活動の一つに、喫茶室「にこにこや」でのランチやコーヒーサービスのお手伝いがあります。地元の一人



おしゃべりとランチの楽しいひと時

暮らしの高齢者の方々にとって、日替わりランチは安くて、美味しいと好評です。ここに集う人たちはおしゃべりを楽しみ、顔なじみの皆さんとともに、時間の許す限り団らんのひと時をゆったりと楽しんでます。希望の家はあたたかい、和やかな雰囲気包まれています。

ボランティア活動にご協力をいただける方は下記にお問い合わせください。

#### 地域福祉センター希望の家

京都市南区東九条岩本町31

(京都駅八条口より南へ徒歩6分)

電話075-691-5615 (担当: 村田)

#### 三、京都南部地区合同堅信式

①五月二十七日(日) 十四時

河原町教会

②成人五名、中学生十四名が受堅

#### 四、結婚誓約更新ミサ

①六月十七日(日) 十時半ミサ

②ミサ中に簡単な祝福を行う

#### 五、大塚司教様、花井神父様霊名のお祝い

①六月二十四日(日) 十時半ミサ

②六月三日より霊的花束を集める

#### 六、平和旬間行事

①八月十二日(日) 十時半ミサ後を予定

②第一回準備委員会

五月二十日(日) 十四時

③東日本大震災救援状況報告等を検討する

#### 七、部会報告

①典礼部

・聖堂整理係名簿・連絡網の整備

・楽廊と祭壇の連絡用無線を使用する

・ゆるしの秘跡はミサ五分前で終了

②広報部

・ホームページには個人情報掲載をしない

③施設管理部

・階段下倉庫の整理を行った

・五月七日より、前庭・南門改修工事を始める

・五月三十一日まで、前庭の駐車はできない



## 洛東ブロック司祭紹介 トマス・アキナス 村上 透磨 神父 その1



村上 透磨(むらかみ とま)神父様は、ご両親ともカトリックで、幼少のころから西陣教会に通い、13歳で福岡の小神学校に入られました。日本カトリック神学院(東京)を経て、ローマのプロバガンダ神学校(ウルバノ大学)で4年間学び、1966年、聖ペトロ大聖堂で、

教皇パウロ6世より司祭叙階を受けられました。1969年に帰国後、京都教区の司祭として、また京都教区聖書委員会、広報委員会等に携わっておられます。幼きイエスの聖テレジアの霊性に心ひかれ、テレジアについての論文をまとめられています。村上神父様を今号と次号に分けて紹介します。

### トマス・アキナス 村上 透磨 神父 プロフィール

1938年5月26日 京都市生まれ (幼児洗礼)

1966年1月6日 司祭叙階

●バチカンの聖ペトロ大聖堂で教皇様から司祭叙階をお受けになりましたが、その時の様子は…

東京カトリック神学院哲学科終了後、ローマのプロバガンダ神学校(ウルバノ大学)で、日本の6名の神学生とともに4年間学びました。授業は全てラテン語でした。叙階式は教皇様のご指示により1966年1月6日のご公現の祭日に行われ、23か国62名が司祭叙階されました。教皇パウロ6世はいろいろな新しい試みをされていますが、教皇様による司祭叙階というのは初めてのことでした。式

の行われた聖ペトロ大聖堂には、第二バチカン公会議のための特別席がそのまま残されていました(左下写真:中央祭壇両サイドの席が特別席)。わたしがローマの神学校に在籍している期間中、第二バチカン公会議が行われていました(1962～1965年)。教皇様による司祭叙階式は心に残るものでしたが、人生の中で最も感動したのは、プロバガンダ神学校での副助祭叙階式でした。この式で、わたしは神さまの憐れみに出会ったように思いました。副助祭叙階式には古屋司教様が出席してくださいました。

●わずか13歳で親元を離れ、福岡の小神学校(寄宿舎生活)に入られたのですが、そのきっかけとなったのは…

物心ついた頃から、日曜日は、両親や家族について西陣教会のミサに行っていました。少しぎれいな洋服を着せてもらって教会まで歩いたのを覚えています。当時のミサはラテン語でしたから、なんのことやらちんぷんかんぷんでしたが、神父様の所作や動きがとてもしっかりと子ども心に感じていました。また、9歳年上の兄がすでに神学校に入っており、兄のようになりたいなあと思っていました。両親から神学校に入るように強制されたことは全くありませんでした。



教皇様による授手

したが、わたしが司祭の道を歩むことを、父母が望んでいることは強く感じていました。わたしは、自ら望んで福岡にある小神学校に行きました。(以下次号)



1966年1月6日、教皇様による司祭叙階式(聖ペトロ大聖堂(バチカン))

したが、わたしが司祭の道を歩むことを、父母が望んでいることは強く感じていました。わたしは、自ら望んで福岡にある小神学校に行きました。(以下次号)

### 報告事項

#### 一、司祭団

①楽廊の整理、私有物の保管方法、未使用のオルガン処理等を検討

②ウイリオンホールに簡易ステージ設置

③聖堂難聴者席の整備、イヤホン購入

#### 二、復活祭パーティー

①支出は約十四万円(予算二十万円)

②十二時ミサとの連携を検討

③終了後の後片付けの人員が必要

### 協議事項

#### 一、『典礼聖歌』購入

①教会購入分の約半数くらいを使用

②土曜夕方、日曜早朝ミサでも、入祭・奉納・退堂時に歌うようにしたい

#### 二、洛東ブロック会議

①五月二十六日(土) 十四時 河原町教会

②宣教司教計画の作成

③司教年頭書簡、ブロック司教訪問趣意書等を参考にす

・「信仰」について

・合同部会の充実

・高齢化、次世代への対応

・社会福音化

③ブロック司教訪問 九月十六日(日) 九時 山科教会

④ブロック合同部会を開くように提言

・教育合同部会 五月二十日(日) 十四時 河原町教会

(左の頁に続く)

### 河原町教会五月度評議会報告



## ●2012年7月～9月の行事予定●

7/1	日		河原町教会評議会 7月例会
7/29	日		教会美化デー
8/4	土	～6(月)教区中学生広島平和巡礼	
8/5	日		河原町教会評議会 8月例会
8/6	月	～14(火) 被昇天準備礼拝 6:30	
8/9	木	～11(土) 土曜学校錬成会	
8/12	日	平和旬間行事	
8/15	水	聖母被昇天	
8/16	木	諸死者追悼ミサ 18:00	
8/25	土	教会学校研修会	
8/26	日	田中司教霊名のお祝い(10:30 ミサ)	
9/2	日		河原町教会評議会 9月例会
9/9	日	敬老感謝ミサ 10:30 懇親会	
9/10	月	～14(金) 教区司祭黙想会	
9/16	日	司教ブロック訪問 13:00 山科教会	
9/23	日		大日山墓地清掃

## お知らせ

## ●イヤホン席とイヤホンアダプターのご案内



難聴の方のために、聖堂の前から6列目にイヤホンレシーバー装置を取り付けた席を用意しています(窓側両サイドの4席)。イヤホンの差し込みジャックのサイズが合わない場合は、受付にアダプターを用意していますのでご利用ください。また、このアダプターはお買い求めいただくこともできます。

## 巡礼バスツアー 多治見神言修道院の

## ぶどう畑

多治見の小高い丘に中世のヨーロッパを偲ばせる雰囲気を持つ修道院の周囲に広がるぶどう畑で栽培されたぶどうは修道院本館の地下室で醸造され、



咲き始めたぶどうの花

1933年以來「修道院ワイン」として多くの人に親しまれてきました。第二次世界大戦中とその後しばらくの間、ワインの輸入ができなかった日本全国の教会に典礼儀式用ミサ・ワインとして供給されていました。



多治見神言修道院のぶどう畑

## 河原町教会 ミサの時間

## 日曜日(主日のミサ)

7:00

10:30

12:00 (英語)

## 月曜日 6:30

火曜日 6:30 18:30

水曜日 6:30 18:30

木曜日 6:30

金曜日 6:30 18:30

土曜日 6:30

18:30 (主日のミサ)

河原町教会では信仰の学びのために次の講座が開かれています。どなたでも自由に参加できます。

## ◆信仰入門講座

月曜日 19:15 花井 拓夫 神父

火曜日 10:00 花井 拓夫 神父  
テキスト『キリスト教とは何か』

19:15 ホアペール 神父

水曜日 19:15 ホアペール 神父

金曜日 19:15 村上 透磨 神父

## ◆信徒養成講座 北村 善朗 神父

信仰をより深めたい信徒の方のための講座です。毎月1回

テーマ「秘跡を学ぶ」

6/28(木) 14:00

7/19(木) 14:00

8月はお休み

テキスト『カトリック教会のカテキズム要約』